

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AIAI PLUS 南流山		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月4日		2025年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子様や、それぞれの園に寄り添った支援。通所と訪問の両面から見られるため、訪問の困り事を通所で解決するよう試みたり、通所での様子を園と共有することができる支援。	・園の求めている事を引き出す支援。 ・特に通所と訪問の両面から見ることができているお子様に対しては、訪問先ですぐに解決することが難しいまたはできない困り事を通所で解決するよう試みたり、通所での様子を園と共有し、問題解決に努めている。	・それぞれの園について研究する時間をつくります。 ・観察力や会話力を高め、解決の引き出しの数を増やしていきます。
2	・環境の違う園それぞれで働く職員と同じ目線で、その園のペースに合わせて物事を解決していく支援。	・押しつけがましくなく、必要とされた時にアドバイスをすること。 ・園環境では支援目標に迫る対応が難しい場合は通所支援で取り組んだり、園での可能な範囲での環境調整をご提案している。 ・園の行事により支援内容を変えている。	・担任の先生や、園長先生の本音を引き出す関係づくり ・担当以外にも訪問支援に行けるしくみづくり
3	・園の環境や先生のスキルに寄り添い、コンサルになりすぎない支援。	・最終決定は、園や、担任の先生が行うよう支援する ・訪問先で見つけた課題を、他の支援員と話し、アドバイスをもらう。 ・担任の先生や加配の先生とよくコミュニケーションをとる。	・お子様の成長を促せる環境調整の知識の獲得

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援へ行ける経験のある職員の確保。	・職員が、訪問支援に同行し、見て学ぶ時間がない。 ・経験の浅い支援員に対する訪問支援に関する講座をする時間が無い。 ・人員不足。	・長期的に働ける環境づくり ・各園の様子や訪問の仕方を報告し合う時間を作ります。 人員や時間がある場合は一緒に行くようにします。
2	・訪問支援の希望をいただきすぎている。	・人員不足。	・長期的に働ける環境づくり ・訪問の提案をする前に、この先継続して指導員の確保ができるかどうか確認をします。
3	・訪問支援員が突然変わる。	・人員不足。	